

5 施設

5.1 図書館施設関係略年譜 (国立キャンパス)

昭和 5 年 6 月 国立キャンパスに図書館 (現:時計台棟) および第 1 書庫竣工。10 月開館。
鉄筋建坪 728 坪, 延 1,844 坪。
書庫五階延 520 坪, 収容力約 30 万冊。

昭和 30 年 書庫収容力が限界に達し, 仮設書庫の設置が始まる。

昭和 32 年 4 月 大閲覧室内に接架室を設置 (開架制の始め)。

昭和 39 年 3 月 書庫増築第 1 期分として, 第 2 書庫竣工。
11 月 接架室拡張竣工。

昭和 52 年 3 月 貴重書書庫 (現:社会科学古典資料センター建物) 竣工。

昭和 55 年 4 月 新館 (現:雑誌棟低層部分) 竣工 (3 階建, 870m²)。9 月開館。

昭和 58 年 3 月 第 3 書庫竣工。

昭和 60 年 12 月 本学建築保存維持のための改修 5 カ年計画の一環として, 旧館 (現:時計台棟) 改修完了。併せて, 外国雑誌センター用地下書庫 (現:書類庫) を設置。

平成 4 年 8 月 書庫狭隘対策として, 事務室機能の大部分を

分散移動し, 跡地を仮書庫に転用。

平成 5 年 2 月 「大学改革推進委員会」傘下の専門委員会として, 「図書館増改築専門委員会」を設置。
4 月 図書館増改築専門委員会, 3 期計画による附属図書館増改築案を策定。

平成 8 年 9 月 附属図書館第 1 期増改築工事: 新館改修 (現:雑誌棟低層部分) 及び増築 (現:雑誌棟高層部分) 竣工。10 月開館。

平成 9 年 10 月 東 2 号館 (3 月竣工) 内に東学習図書室開室。

平成 11 年 2 月 附属図書館第 2 期増改築工事に先立ち, 旧館の一部および第 1 書庫を解体。

平成 12 年 3 月 附属図書館第 2 期増改築工事 (本館新営) 竣工。10 月開館。
旧館を時計台棟に, 新館を雑誌棟に改称。

平成 13 年 11 月 時計台棟内旧事務室跡の一部を公開展示室に改装竣工。

平成 14 年 3 月 時計台棟内旧事務室跡を名誉教授閲覧室, 研修セミナールーム, 修復保存室に改装竣工。

5.2 建物

一橋大学附属図書館施設は, 国立西キャンパスで 70 年間に渡って建てられた建物群と, 東キャンパス講義棟内に設置された学習図書室から構成されている。

【時計台棟】

- 昭和 5(1930) 年竣工
- 昭和 60(1985) 年, 平成 12(2000) 年改修
- 地上 2 階地下 1 階, 時計塔
- 図書館使用部分*8床面積 1,983m²

昭和 5(1930) 年, 本学の前身である東京商科大学の谷保村 (現:国立市) 移転と共に建設された。

西キャンパスの文字どおり中心に位置し, 時計台と 2 階大閲覧室は, 今日においても一橋大学のシンボリック存在である。

1 階は主に展示や研修のためのスペースにあてられている。

2 階	大閲覧室
1 階	エントランスホール, 公開展示室, 館長室, 会議室, 名誉教授閲覧室, 事務用目録室, 修復保存室, 研修セミナールーム
地階	書類保管庫



大閲覧室 (時計台棟 2 階)



公開展示室 (時計台棟 1 階)

*8 時計台棟には, 図書館施設のほか, 教官研究室も配置されている。



参考資料コーナー (本館 1 階)



情報検索コーナー (本館 1 階)

【本館】

- 平成 12(2000) 年竣工
- 地上 4 階地下 1 階，一部 5 階
- 延床面積 6,693m²

旧図書館本館の出納及び事務スペース (時計台棟背面部分) と第 1 書庫^{*9}を取壊した跡に，新しい図書館本館として平成 12(2000) 年に竣工，開館。

100 万冊規模の開架図書に加えて，参考図書や情報検索端末が設置されている。

5 階	機械室
4 階	マイクロ資料室，貴重資料室， 情報管理課事務室
3 階	開架閲覧室，オープンアクセスフロア
2 階	開架閲覧室，グループ学習室， オープンアクセスフロア，大閲覧室入口
1 階	メインカウンター (閲覧/参考/ILL)， 参考資料コーナー，情報検索コーナー， ブラウジングコーナー，AV コーナー， 書庫入口，雑誌棟連絡通路， 情報サービス課事務室
地階	開架書庫，機械室



マイクロ資料室 (本館 4 階)

【雑誌棟】

- 昭和 55(1980) 年竣工
- 平成 8(1996) 年増改築竣工
- 地上 5 階地下 1 階
- 延床面積 4,246m²

学生用学習図書館として昭和 55(1980) 年に開館。平成 8(1996) の年増改築後は，平成 12(2000) 年の現本館開館まで，本館機能を果たした。

現在は，雑誌，新聞等の逐次刊行物類及び統計，白書，法令資料等が集中配置されている。また，人文・社会科学系外国雑誌センター及び EU 資料センター資料も配置されている。

5 階	開架閲覧室 (製本雑誌)，グループ学習室， オープンアクセスフロア
4 階	開架閲覧室 (製本雑誌)， オープンアクセスフロア
3 階	開架閲覧室 (製本雑誌)
2 階	開架閲覧室 (統計類/白書/法令集)， オープンアクセスフロア
1 階	開架閲覧室 (新着雑誌/EDC 資料)， 新聞コーナー，本館連絡通路， 情報管理課事務室，電子計算機室
地階	開架書庫，新聞コーナー，機械室



グループ学習室 (本館 2 階)

^{*9} 昭和 5(1930) 年竣工の「第 1 書庫」は，現本館新築のため平成 11(1999) 年に解体されたが，「第 2 書庫」「第 3 書庫」の呼称も長年定着しているため改称はおこなわず，現在「第 1 書庫」は欠番となっている。



新聞コーナー (雑誌棟 1 階)

【第 2 書庫】

- 昭和 39(1964) 年竣工
- 地上 4 層
- 延床面積 846 m^2

【第 3 書庫】

- 昭和 58(1983) 年竣工
- 地上 4 層地下 1 層
- 延床面積 885 m^2

【東学習図書室】

- 平成 9(1997) 年竣工 (東 2 号館)
- 図書室床面積 394 m^2

旧小平分校の国立統合移転にともない、旧小平分館の学習図書館機能も本館に集約された。一方、前期教育が行われる国立東キャンパスは、西キャンパスの図書館から離れているため、最寄りの学習場所として、講義棟の一室に図書館の分室を置くことになった。

配置資料は、参考図書、新聞、雑誌、AV 資料が中心で、自習閲覧室的な性格が強い。また、AV 及び LL の自習室も併設されている。



東学習図書室 (東 2 号館 3 階)



時計台棟玄関アーチから本館入口を見る



本館 1 階中央通路から本館入口を見る

5.3 閲覧座席数, 収容可能冊数, 床面積

平成 17 年 3 月 31 日現在

	閲覧 座席 数	収容可能 冊数 (千冊)	床 面 積 (m^2)							
			延床面積	サービス用途				管理用途		その他
				閲覧	視聴覚	情報	その他	書庫	事務	
時計台棟	309		1,983	696			82	87	428	690
本館	143	881	6,693	2,493		105	129	1,202	835	1,929
雑誌棟	183	493	4,246	2,519		16	37	455	186	1,033
第 2 書庫		213	846					846		
第 3 書庫		272	885					885		
連絡通路等			201							201
東学習図書室	149		394	351	30				13	
合計	784	1,859	15,248	6,059	30	121	248	3,475	1,462	3,853